

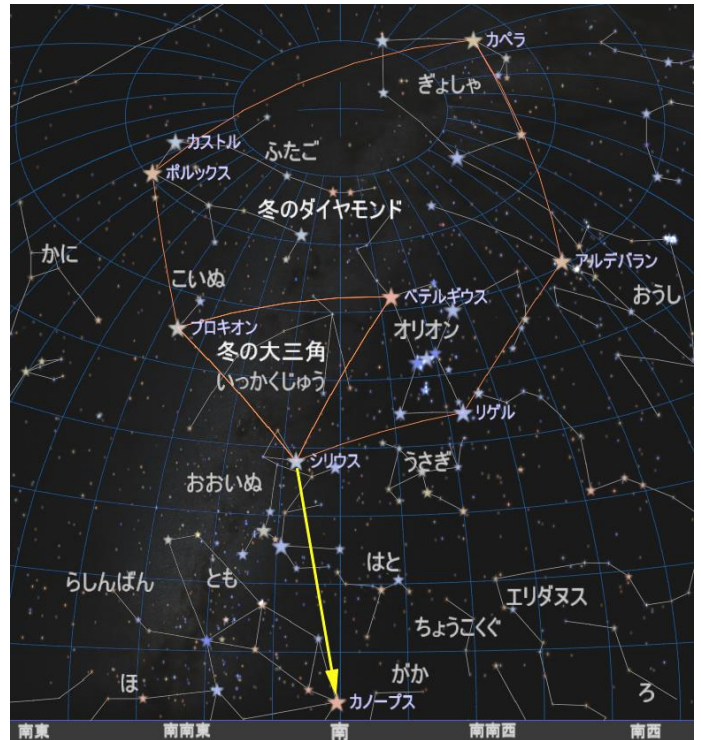


第643号

# ジオスペース館だより

## ★ 今月の星もよう ★

2月中 旬の夜8時頃の南の空は、「オリオン座」のベテルギウスとリゲルや、「おうし座」のアルデバラン、「ぎょしゃ座」のカペラ、「ふたご座」のポルクス、「こいぬ座」のプロキオン、「おおいぬ座」のシリウスなど、1等星以上の明るい星をもつ星座が多く、大変賑やかです。また、これらの1等星を結びと、三角形と六角形ができ、それぞれ星を探するときの目印として親しまれています。三角形は、ベテルギウス・プロキオン・シリウスの3つの星からなり、《冬の大三角》と呼ばれています。六角形は、カペラ・ポルクス・プロキオン・シリウス・リゲル・アルデバランの6つの星からなり、《冬の大六角形》や《冬のダイヤモンド》と呼ばれています。1等星以上の明るい星は、全天の88星座中に21個ありますが、冒頭で紹介した7つのほか、東の空に昇った「しし座」のレグルス、南の地平線すれすれに見える「りゅうこつ座」のカノープスを含めると、2月中 旬の夜空には、そのうちの9つが眩く輝いています。冬の澄んだ空気の中、このように明るい星や、見つけやすい形の星座が多いので、日本では、冬の夜空を「1年で最も美しい星空」と表現することもあります。ぜひ、観察してみてください。



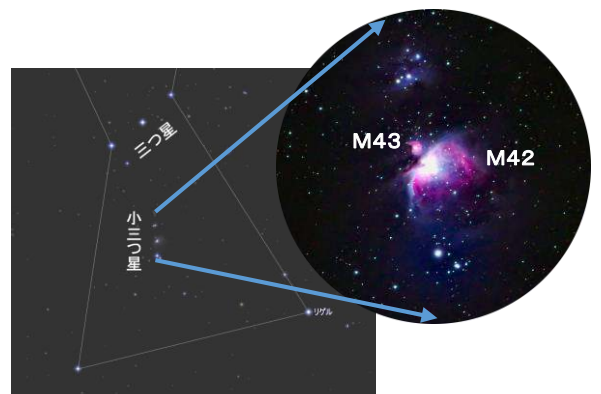
図はステラナビゲーター11の星図を元にして作成

## ★ カノープスを見つけよう！

「りゅうこつ座」のカノープスは、太陽を除く恒星のうち、「おおいぬ座」のシリウスに次いで2番目に明るい星です。「りゅうこつ座」は南天の星ですが、夜更け前にカノープスが南中する2月は、カノープスを見つけるチャンスです。南の空の低い位置にあるので、南の空が開けた場所で、カノープスを探してみましょう。カノープスは中国では《南極老人星》と呼ばれ、この星を見ると長生きをするという言い伝えがあります。

## ★ オリオン座に注目！

「オリオン座」の三つ星の下には、縦に並んだ3つの星（小三つ星）があります。真ん中にぼんやりと見えるのは星ではなく、望遠鏡で見ると、蝶が羽を広げたような形をした「オリオン大星雲（M42）」というガス星雲です。若い星雲で、新しい星がたくさん生まれている場所だと考えられています。オリオン座には、この他「M43」や「M78」などの星雲もあります。



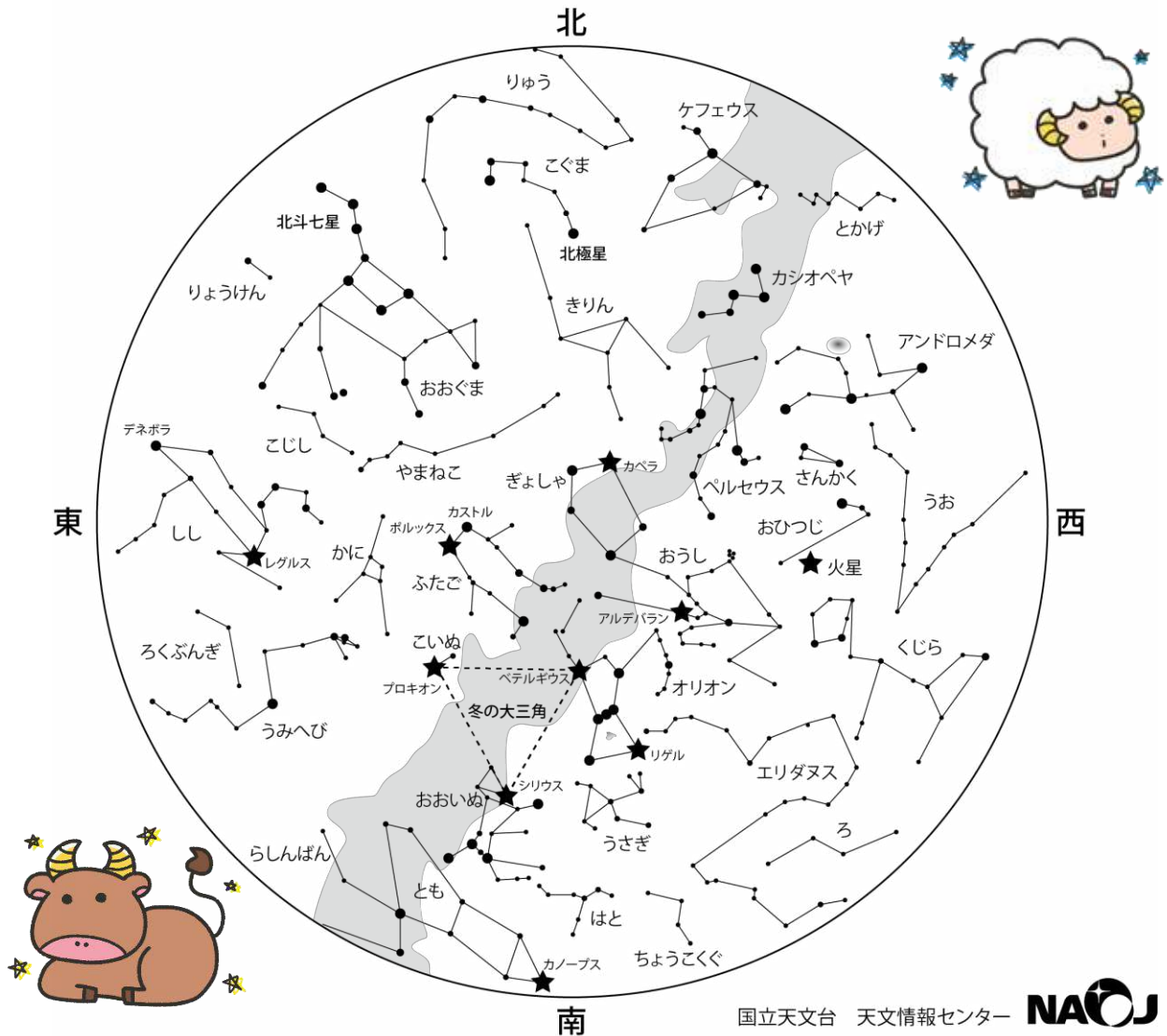
★ 2月のプラネタリウムの内容につきましては、別刷りの「投影案内」をご覧ください ★

★ プラネタリウムのお休み 2/1(月)、8(月)、12(金)、15(月)、17(水)、22(月)、24(水)

★ 2/20(土)は、星めぐりコンサートのため投影はありません。

★ 新型コロナウイルス感染症対策で、入場定員を減らして投影しています。

# 2月上旬午後9時頃の星空



## ★ 2月上旬の主な天文現象

2日(火) <small>せつぶん</small> 節分	8日(月) <small>エム</small> 月がM8に接近、
3日(水) <small>りっしゅん</small> 立春	<small>すいせい ないごう</small> 水星が内合
5日(金) <small>かげん</small> 下弦	12日(金) ● 新月

## ★ 宇宙ステーション(豊川での主なデータ 2/1~15) ※ 下記時刻は、予想値です

◇ 2月 4日(木) [見やすさ○]	18:28 北北西	~ 18:31 東北東
◇ 2月 5日(金) [見やすさ○]	19:17 西北西	~ 19:20 西南西
◇ 2月 6日(土) [見やすさ◎]	18:29 北西	~ 18:35 南東
◇ 2月 8日(月) [見やすさ△]	18:32 西北西	~ 18:37 南

豆知識：国際宇宙ステーション (ISS) は、明るい星が動いているように見えます。  
飛行機のような赤緑ランプの点滅はありません。